

The image features three muscular mannequins, likely used for fitness or bodybuilding purposes, arranged vertically. They are shown from the waist up, with their arms slightly bent. The entire scene is bathed in a uniform blue light, creating a monochromatic effect. The mannequins are positioned against a dark background, which makes their muscular forms stand out. The text is overlaid on the mannequins' torsos.

俺とやらないか

さあ やろうぜ

よし やりまくるぞ

暗く狭いところに体を縮めながら、息を殺していた。

隙間から覗ける、ドアの向こうは無人人なれど、静かなものだから、壁の向こうの廊下を歩く足音が聞こえる。

そのまま遠ざかるかと思いきや、部屋のドアがけたたましく開けられ男が三人、入室。

「俺とやらないか！」「さあ、やろうぜ！」「よし、やりまくるぞ！」と順番に喚きながら、カーテンを開いたり、棚の下を覗いたり、物をどかしたり。

肩を震わせつつ、呼吸音がしないよう口を手でふさぐも、心臓の爆音が漏れそう。

まさか聞こえたとは思わないが、俺が隠れるロッカーが端から開けられていき。

いっそ跳びだし、一目散に部屋のドアに走るか。

悩むうちにも、ロッカーの扉はどんどん開けられて、もう万事休す。

かと思ったのが「うわあああ！助けてくれ！」と二つ隣のロッカーから悲鳴が。

俺がロッカーにはいるまえから隠れていたのだろう。

命乞いに聞く耳を持たず「拷問プレイをやらないか！」「さあ、三角木馬に乗せようぜ！」「よし、木馬責めをしまくるぞ！」と繰り返し喚

きつつ、三人で彼を抱えあげ、部屋のドアへと。

ドアを開け廊下にてで間もなく「ああ！やめ！そ、そんな！くう、ああああ！」と彼の悲痛な叫びと、あられもない喘ぎが聞こえ、たまらず耳を手でふさぎ、目を瞑った。

奥歯を噛みしめながら「どうして、こんなことに・・・！」と嘆いたもので。

ドアの向こうはベビーベッドを中心に、ぬいぐるみやオモチャが敷きつめられた、赤ちゃん用の部屋っぽい内装。

ダブルベッドサイズのベビーベッドに放られても、俺はショックから立ちなおれず、呆けたまま。

危機感を覚ええず「赤ちゃんプレイって、俺が赤ちゃん役？」と他人事のように考えているうちに、三人が背をむけて、なにやら、ごそごそ。三人一斉にふりむいたなら、レースのついたほっかむりを被り、おしやぶりを啜え、これまたひらひらしたレースのまいかけを装着。

海パン一丁の装いだから、まぬけなような、ホラーのような。

さすがに「そっちが赤ちゃん!？」ときよっとしたとはいえ、起きあがるまえに二人がおしやぶりを放り「ママ!」とベビーベッドにダイブ。

太い腕にラリアットされて「ぐえ!」と呻く間もなく、トシャツと下着をまくられ、ない胸を揉まれ、おしやぶりの代わりに突起を啜えられて。

豊満なおっぱいを揉むような手つきで、突起を舐めてしやぶり吸い食んで噛んで、もう片手を下半身に。

あつという間に剥きだしにしたら、二人でにぎりこんで、空のチューブを押しだすようにシコシコと。

「はあ、あう、や、やめ、俺、ママ、じゃ、ああ、くう、ば、ばかあ、でな、い、てえ、ひいあ！ああ、あん、あん、ああん！や、やあ、そこ、はあ、でちや、やあん、そ、そんな、二人、で、だしちや、は、はあ、はあう、ばか、ばかあ、お乳、じゃ、な、ふああ！やあ、やめえ、強お、あ、ああ、で、でちや、でちやう・・・！」

抗う暇もなくそもなく、赤ん坊に扮した男二人に性急に搾りだされて「ひやうあああ！」と大量射精。

と、ほぼ同時に、両脇の二人が退き、立って見おろしていた一人が「ママ！」とベッドに跳びこみ、俺の精液まみれのを啜えこんで。

白濁の液体を旨そうに舐めとり、しきりに喉を鳴らし、さらに搾りだすように両手でにぎって絞めつけ上下させながら、先っぽをちゅうちゅう。

次次と大波のように快感が押しよせて、身をゆだね、乱れ狂ってしま
いそう。

ぎりぎり理性を保ちつつ「いった、ばっか、でえ、らめえ！」と首を
振ることしかできず。

おまけに、一旦は身を引いた二人が海パンをずらして、精液でてらて
らする剥きだしのを、胸にこすりつけてくる始末。

突起をちゅぷちゅぷ濡らしながら、固い先っぽで揺さぶってくる。